

私の園の入園状況

中谷久子

幼児教育の重要性が、一般社会に認識されるようになって、幼稚園への入園希望者が年々増加するに伴って公私立の幼稚園が次々と新設され、又拡張されて、その収容人員も多くなった。

而し乍ら昭和二十七年、二十八年は幼児数の急激な増加により、幼稚園は最も

狭き門となり、はじめて集団生活に入る純真な幼な児の魂に、落伍者として暗い影を与え、その父兄に不安と焦燥と失望を、感じさせる。入園選考が、行われることになった。入園許可発表の際は、夫々の事情を泣いて訴える、父兄の面接に園長は、身も病る苦しい立場におかれるのであった。そ

の後次第に幼稚園は広き門へと移行しつつあるが、園に依って必ずしもそうとは言われない。
私の幼稚園のここ数年の入園状況を示して見ると次のようである。

年次	園児数		組数		新入園児数		志願者数	倍率	種類	入園児選考方法	備考
	一年児	二年児	一年児	二年児	一年児	二年児					
昭和 一五年度	130	23	3	1	130	150	1.2	身体検査 テスト	志願者全員身体検査をして 後簡単なテスト	願書受付は、満員次第 締切	
二六年度	156	56	4	2	179	297	1.7	同右		同右	
二七年度	199	62	5	2	205	311	1.5	同右		同右	
二八年度	323	66	8	2	327	478	1.5	抽せん 身体検査	市教委立会の上抽せんで第一 次決定身体検査に依って決定	市教委の公示に依って願 書を一定期間受付ける	
二九年度	400		10		334	453	1.4	同右	同右	一年保育児のみ	
三〇年度	436		11		436	495	1.1	同右	同右	同右	とする

右の表に示す組数の増加は、毎年入園志望者の切望により、当局に陳情しての結果であつて、もとより保育室の余裕はなく、職員室を保育室に、又物置を改造拡張して保育室に充當、つづいて保育室の増築と、育友会の絶大な援助を得て、多数幼児の収容に努めて来たのである。

遂年の入園希望者増加に、従来行つて来た願書受付開始後、満員になれば随時締切り身体検査と簡単なテストで、入園決定をしていた方法は、種々の問題をかもし出す点をかんがみ、二十八年度からは、市教委の公示に依つて、広く一般に知らし、一年保育児のみ募集を原則として、一定期間内は願書を受け、市教委立会のもとに、厳正な抽せんによつて第一次を決定、当選者のみに身体検査を行つて、身心共に集団生活に支障なしと、認めた者に入園許可の通知を送ることになった。

園の事情や、保育の実際から、特に要望して最少限の二年保育児収容を許されていたが、二十九年度は全然二年保育児の願書

を受けず、一年保育児のみで四五三名の志願者となり、高一・四の倍率を示し、神戸市立幼稚園で唯一つ抽せんを行ったのである。

三十年度は残る園児はなく定員の全部四〇〇名を募集したが四九五名の志願者で、又々抽せんに依つて選考、特に一組増加四三六名の入園許可となつた。

以上によつて大体神戸市立幼稚園の入園状況のアウトラインが、うかがわれると思ふが、昨年度からは私の園を除いて一年保育児は全員、身体検査のみで入園出来るようになり、狭き門をかこつていた幼稚園も次第に落ちつきを見せ、二年保育児も十分収容されて、幼稚園のあるべき姿にかへり望まじき保育へと明るい見通しのついて来たことをまことにうれしく思う。

私の園も来年度は抽せんなしに全員収容出来るだらうと肩の軽さを覚えている。

(神戸市立楠幼稚園)

新 刊 案 内

文 学 博 士 武 政 太 郎 先生 監 修
玉成高等保育学校長 有 院 扁 良 先生 校 閲

玉成高等保育学校幼児教育研究会編

A5判 330頁
定 価 450円

フレーベルの恩物の理論とその実際

箱入上製本
下 32円

フレーベル先生が創造された恩物について、著者の多年の研究の結果が、平明に説かれている。恩物の研究家、ならびに幼児教育者必読の書!

株式会社 フレーベル館